



〒300-3253 茨城県つくば市大曾根3765-4 TEL&FAX029-895-3775
yoshonencamp@mail2.accsnet.ne.jp http://www2.accsnet.ne.jp/~yoshonencamp/

FORE WORD

自然災害とどう向き合うか

朝、目が覚める度に、この惨劇が夢であってほしいと願う。テレビをつけると、日々深刻化する被害の報道が、その望みを打ち砕く。

2008年6月に起きた岩手・宮城内陸地震の記憶がまだ新しいなか、また、花山が被災した。今回は、キャンプ場や地元の方々だけではなく、東北地方在住の会員の方の中に、避難生活を余儀なくされている人もいる。

2008年は花山キャンプの開催を決定した。大きな理由は、キャンプ場の建物に公的な安全確認できたことと、栗駒山へは立ち入れないもののキャンプ場周辺に山地被害はなかったことだ。さらに、地元花山の方々も被災しながらもキャンプの開催を心待ちにくださった。結果、参加者は約半分に減少したが、キャンプ開催により、花山の子どもたちを無料でキャンプに招待したり、地域の方々を励ます「がんばろう花山」という会を開催し、会員の方々と共に、復興への協力を誓った。

この時も、メディアからは連日、山地崩壊の生々しい惨状が報道され、キャンプ開催の決定に多くのご批判の声があった。テレビ報道からは、あんな中でキャンプをするなってとんでもないと言われても仕方がない状況だった。しかしながら、地震の翌々日、花山に飛んでいったが、報道が嘘かのような静かなキャンプ場があった。また、夏には、とんでもないと思われたすぐ近くで復興に向けて生活している人たちがいる。結果として、キャンプを開催して、半分のキャンパーたちの夢の実現、地元の人たちや子どもたちの絆の深まり、スタッフの一体感など得るものの多い年となった。

今回の地震で、花山は、未だライフラインが止まっているものの、人的被害や、山地崩壊はないようだ。太平洋沿岸在住のキャンパーの無事も確認できた。津波被害を受けた大洗市在住のキャンパーからは、「つまごいスキー、絶対やって」と逆に励まされた。事務局のあるつくば市も、地震から3日目を迎え、ライフライン、商店等も安定してきた。一つだけ懸念は、東

京電力の計画停電により、スキー場が通常通り営業できるかどうか、東京電力の二転三転する判断に振り回されている。あと不安をかき立てるメディアの報道とそれを受けた参加者の心情である。

キャンプディレクターとして、キャンパーの夢、スタッフの成長、地元の方の期待、会員の方々の気持ち、そして団体の維持と、決して一つの正解があるわけではない決断をせまられている。

REPORTS

○2月月例会報告

* 設立総会

第1回月例会に併せて、設立総会が開催され、会則の承認や改訂、役員を選任等が行われました。会則は www2.accsnet.ne.jp/~yoshonencamp/cu_board.pdf で確認できます

また、選任された役員は以下の通りです。

- ・会長 佐藤冬果(筑波大学3年)
- ・副会長 中川佳美(筑波大学3年)
田中利空(茗溪学園5年)
- ・監査 岡田成弘(筑波大学大学院博士3年)
- ・顧問 岡村泰斗(幼少年キャンプ研究会副代表)
- ・会計 佐藤冬果(筑波大学3年)
- ・広報 中川佳美(筑波大学3年)

* 【勉強会】

幼少年キャンプ研究会の歴史と実績

CUメンバーの活動の場となる幼少年キャンプ研究会の歴史と実績、そして今後のCUとの関わりについて、顧問のばくよりプレゼンテーションがありました。

《幼少研の歴史》

幼少研は1969年に設立され、北軽井沢にて第1回目のキャンプを開催しました。当時の代表は近藤充夫先生、副代表は飯田稔先生という体制でした。

その後、飯田先生の渡米、帰国、筑波大学着任の後、群馬県孺恋村にてバラギキャンプが始まりますが、飯田先生の在外研究渡米によりバラギキャンプは一時中断をすることに。帰国後の1985年、宮城県花山村に花山キャンプ場が設立されました。そして1994年、キャンプセンターやきくホールが建設され、現在の花山キ

キャンプ場が完成しました。

2001年には新しくデイキャンプ型のゆめキャンプが始まったり、2004年に飯田先生が筑波大学を退職され、岡村泰斗先生が幼少研副代表に就任するなど、新たな時代へと突入しました。そして2010年、下部組織としてカウンセラーユニオンが設立され、新しい体制となりました。

《幼少研の事業》

ゆめキャンプ… 長期継続型デイキャンプ。魅力的な野外スポーツ・自然体験を提供し、花山キャンプへの導入を図るキャンプ。また、スタッフの指導経験の場の拡大にもなっている。

つまごいスキーキャンプ… 4泊5日、小4～高3を対象に行われるスキーキャンプ。花山キャンプやゆめキャンプの仲間との再会の場であり、冬の自然・スノースポーツを楽しみながら技術の向上を目指すキャンプ。

花山キャンプ… 長期滞在型キャンプであり、原始的（プリミティブ）キャンプでもある。野外生活、冒険教育プログラム、環境教育プログラムを提供する。大学カリキュラム（キャンプ）の実践、調査研究、地域連携、地域活用、発達段階、リピーター、即戦力となる指導者養成などがコンセプトとなっています。

《幼少研の実績》

日本野外教育学会役員のうち、幼少研カウンセラー経験者は約半数の**53.5%**。筑波大学野外運動研究室の学位論文のなかで、幼少研で取られたデータを用いているのは3分の1以上の**37.2%**。このように人材の面でも、研究の面でも、実績を残してきています。



* そば打ちスキルアップ

キャンプで時々登場するそば打ちプログラム。それに備え、そば打ちスキルアップトレーニングを行いました。

材料はそば粉**160g**と中力粉**40g**、水**100ml**。粉同士をよく混ぜ、水を8割程度加えてダマにならないようにしながらよくこねます。残りの水を少しずつ加えながらこねた後、打ち粉のしいてある台の上でめん棒を使って薄く広げます。そしてそばの幅に切り、沸騰したお湯で茹でます。

うまくできた人、固まった人、ぼろぼろになった人… と様々でしたが、水の量とこね方がポイントだったようです。その日の湿度によっても違うようですが、水が**90ml**でうまくいった人もいたので、少なめでも良いのかもしれませんが。あとは職人としてのカンですね。

NEWS BRIEFS

○メンバー自己紹介追加！

* 古川優月（ばーば）

- ・ 富山大学芸術文化学部1年
- ・ 大学ではワンダーフォーゲル部に所属しています。キャンパーとして高校3年生まで参加し、去年はスタッフとして参加しました。私にとって花山は自分が生まれ育った場所と同じくらい大切な場所です。技術も知識もありませんが、自分が出来ることを一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします！

○幼少研関連地震被災情報

- ・ 花山：はしばの佐藤正隆さんと連絡がとれました。現在、電気、水が止まっていますが、建物や家財道具はまったく無事だったようです。おそらく、キャンプ場も大きな被害はないと予測されます。
- ・ 宮城県多賀城市在住の寺崎由香子さんの無事が友人の小松彩季さんからの連絡で確認できました。現在避難所にいるようですが、ご家族、家の確認はできていません。

・ 茨城県大洗市在住の坂本貴彦さんと直接連絡がとれました。ご家族、家、保護者の方の工場等すべて無事で、すでに自宅で生活できているようです。

・ その他幼少研の関係者で被災された方の情報がありましたら事務局までお寄せ下さい。

PROFESSIONAL OPPORTUNITIES

○今後の月例会・研修合宿の予定

・ 4月月例会

日時：2011年4月17日（日）13:00～18:00

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

（つくば市大曾根 3765-4/つくバス北部シャトル大穂庁舎下車徒歩5分）

内容：仲間作りゲーム（ASE）セッティング勉強会、懇親会

出欠：4月11日（月）までに佐藤冬果（080-1211-8971 / fuyu-sato.0103@docomo.ne.jp）に必ず出欠の連絡をして下さい。

・ 5月月例会

日時：2011年5月8日（日）13:00～18:00

場所：幼少年キャンプ研究会事務局

（つくば市大曾根 3765-4/つくバス北部シャトル大穂庁舎下車徒歩5分）

内容：勉強会（内容未定）、花山キャンプ発送作業、懇親会

・ **出欠**：5月2日(月)までに佐藤冬果(080-1211-8971 /fuyu-sato.0103@docomo.ne.jp) に必ず出欠の連絡をして下さい。

・ **第2回バックカントリースキー研修合宿**

日程：2011年4月29日(金祝)～5月1日(日)

場所：山形県月山

内容：バックカントリー

予定：1日目 移動、環境整備、プチツアー

2日目 ビックツアー、雪崩レスキュー講習

3日目 プチツアー、撤収、移動

参加費：5000円程度(リフト、食費、保険料等)

※人数によって変動します。

・ **第3回花山山菜温泉ツアー**

日程：5月2日(月)夜～5月5日(木祝)

場所：花山キャンプ場

内容：山菜狩り、キャンプ場整備

予定：1日目 キャンプ場整備、温泉堪能

2日目 山菜狩り、山菜パーティー

3日目 山菜狩り、移動

参加費：3000円程度(食費、保険料等)

※人数によって変動します。

※バックカントリー研修合宿と、花山ツアーは連続して行う予定です。どちらかのみ参加の方は、参加人数によって移動方法などに変更があります。

詳細は、人数が確定し次第お伝えします。

●
○ **書籍紹介**



森林を生かした野外教育

／飯田稔著／林業改良普及双書

幼少年キャンプ研究会の代表、ゴリラこと飯田稔先生の著書。アメリカの野外教育、花山キャンプ場の設立等の花山キャンプの歩み、環境プログラムについて... など書かれており、花山キャンプを知る人にとってはより面白いのでは。

FROM
THE
EDITOR

●
3月11日の大地震で花山も震度7の被害を受けました。キャンパー卒業生から花山を心配する連絡がたくさん来ます。花山の方々は厳しい生活のよう

ですが、仙台にいる花山出身の友人は「前回の地震でもみんなたくましくて、育てた食材食べて協力し合っていたから、花山のみんななら大丈夫だって変な自信があるんだ」と話していました。私たちも、花山の復旧を信じましょう。(By ふゆりん)